

# Panasonic

TV-FM-AM 3バンド ステレオ レシーバー  
FM-AM 2バンド ステレオ レシーバー

品番 RF-HS90  
RF-HS70

## 取扱説明書

TV-FM-AM 3-BAND STEREO RECEIVER  
FM-AM 2-BAND STEREO RECEIVER

### Operating Instructions



RF-HS90



RF-HS70

このたびは、ステレオ レシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

上手に使うって上手に節約

保証書別添付



#### 付属品

- インサイドホン(ステレオ)
- 単4形乾電池(RC3) 2本
- キャリングケース

この取扱説明書は、2機種共用となっています。  
お買い上げいただいた機種の品番をご確認の上、お使いください。

相違点	品番	RF-HS90	RF-HS70
ラジオバンド		AM FM TV(1~12ch)	AM FM(TV1~3ch)

#### 特長

- シンセタイプの「スピーカー内蔵/AMステレオ」対応
- 全国41地域+JRN幹線の放送局をスピード選局/受信できる放送局を次々にメモリー「オートエリアバンク&オートメモリー」搭載
- 大型、角型フェライトバーアンテナ搭載「高感度AMチューナー」設計
- 耳の大きさに合わせてサイズの調整ができる新インサイドホン「ぴったりホン」付属

便利メモ(おぼえのために、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	RF-HS90/HS70
販売店名		電話( )	-
お近くの ご相談センター		電話( )	-

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06) 909-1021

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division

1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06) 909-1021

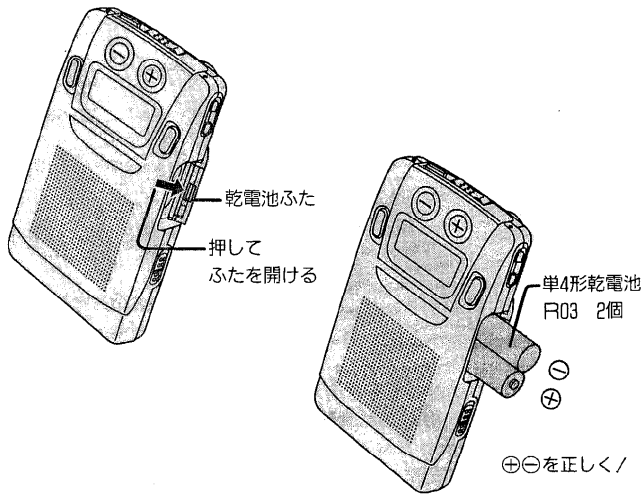
RQT2376-1S

F0193M3044

# 電源

## 乾電池の入れかた

単4形乾電池2本で使用できます。



- 乾電池を入れる途中で、操作ボタンは押さないでください。(表示や動作が正常に働かないことがあります。)
- 乾電池を入れると、“U01”が15秒間表示された後“AM12:00”表示になります。(時計の合わせ方は、P9・10ページをご参照ください。)
- “U01”表示中に乾電池を取替えると、時計を合わせ直す必要はありません。

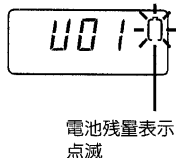
## 乾電池使用上のご注意

乾電池は使い方を誤ると破裂や破損、液漏れの恐れがあります。次のことは必ずお守りください。

- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート(短絡)、分解、加熱などはしないでください。
- 乾電池は充電式ではありません。
- 同じ種類の乾電池を使用してください。

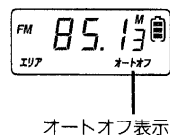
## 電池の交換時期

電池残量表示で電池の消耗を確認できます。表示が点滅し始めたら電池が消耗していますので、電池を交換してください。また、電源が切れ“U01”表示になる場合も電池が消耗していますので交換してください。●本機では、メモリー保護のため、乾電池の容量がわずかに残った時点寿命としています。



## オートパワーオフ機能について

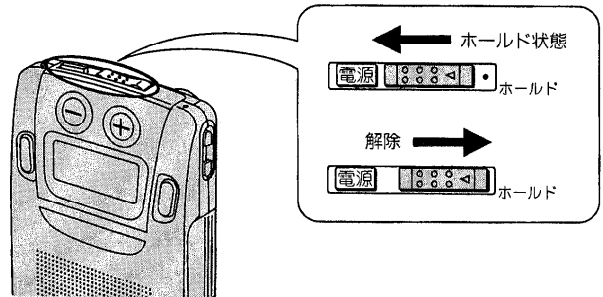
本機は、乾電池の節約のため電源を入れて90分経つと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。続けてお使いになりたい場合は、もう一度電源を入れてください。この機能を解除し連続してお使いになりたい方は、電源切の状態、⊖ボタンを押しながら電源ボタンを押してオートオフ表示を消灯させてください。同じ操作でオートパワーオフの復帰/解除ができます。



# 操作の前に

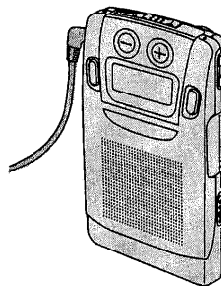
## 誤操作を防ぐには

ホールド切替つまみをホールド状態の方向へ切り換えると、本体のボタンが保持状態となり、押しでも操作できなくなります。誤操作や誤操作による乾電池の消耗を防ぐことができます。操作するときはホールドを解除してください。



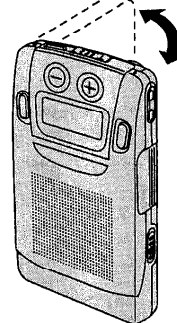
## よりよい受信のために

### FM,TV放送



インサイドホンのコードはTV、FMアンテナとして働きますので、束ねずに長く伸ばしてください。束ねるとアンテナ効果は悪くなります。スピーカーをご使用になるときもインサイドホン接続してください。

### AM放送



内蔵のフェライトバーアンテナが働きますので本機の向きを変えて、最もよく聞こえるようにしてください。

## ご参考

建物や乗物の中などでは、電波が届きにくいので、放送が聞こえにくくなったり、聞こえないことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

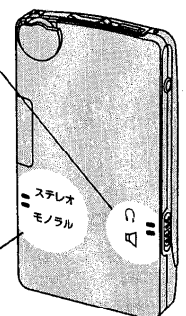
## インサイドホン/スピーカーの切替

- 🎧 ……インサイドホンで聞くととき
- 🔊 ……スピーカーで聞くととき

## ステレオ/モノラルの切替

ステレオ…AMステレオ・FMステレオ放送を聞くととき

モノラル…ステレオ放送で雑音が多いとき



# ラジオを聞く

ラジオ放送を楽しむ方法に次の2種類があります。

- エリア(地域)を選んであらかじめ記憶された放送局を選ぶ**エリアバンク**(準備A)
- 放送局を記憶させて聞く**メモリー機能**(準備B)

## 自動でエリア(地域)を選んであらかじめ登録された放送局を聞く(オートエリアバンク)

### 準備A

本機にはあらかじめ地域ごとに受信できる放送局がメモリーされています。インサイドホンに接続しオートボタンを押すと自動的に、現在地(新幹線を含む)のエリア番号を選び、記憶された放送局を簡単に聞くことができます。

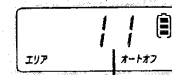
#### 操作の前に

- インサイドホンを接続する
- インサイドホンが接続されていないと、“E”表示がでることがあります。
- インサイドホンは耳に合わせてサイズの調整ができます。

### 1 電源を入れる

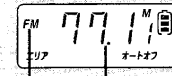
### 3 1秒以上長押しする

(例：東京圏IIの場合)



エリア番号

エリア番号が順送りされ11の表示で停止します。



バンド 周波数

東京圏の一番低い周波数表示になります。

東京～博多間のFM放送を実施している新幹線の中では、42が表示された後、周波数表示となります。

### 2 「エリア」表示を選ぶ



エリア表示

押すたびに  
→(表示なし)→エリア→メモリー  
と表示が変わります

表示なしの時は、右の「聞く」の手順で手動で周波数を変えてラジオを聞くことができます。

## 自動で好みの放送局を記憶させて聞く(オートメモリー)

### 準備B

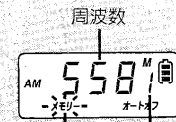
オートエリアバンクではエラー“E”表示がでたり、聞きたい放送局がうまく受信できなかったときに使います。また、海外でお使いになる場合(※12ページ参照)にも便利です。

#### 操作の前に

- インサイドホンを接続する
- RF-HS90** AM、FM、TV各9局、計27局まで記憶できます。
- RF-HS70** AM、FM(TV1-3CH)各9局、計18局まで記憶できます。

### 1 電源を入れる

### 3 1秒以上長押しする



メモリー点滅 メモリー番号

**RF-HS90** AM→FM→TV

**RF-HS70** AM→FM

の順に放送局を受信していき、各バンド9局まで周波数の低い順に記憶します。記憶できるとピッと鳴ります。

#### 注意

オートメモリーすると前に記憶されていた放送局はすべて消えます。

### 2 「メモリー」表示を選ぶ



メモリー表示

押すたびに  
→(表示なし)→エリア→メモリー  
と表示が変わります

## E表示がでたら手動でエリアを選びます

# 聞く

準備A、準備Bの操作後は電源を入れ、1、2、3の手順で聞けます。

### 1 バンドを選ぶ

**RF-HS90**

AM→FM→TV

**RF-HS70**

AM→FM(TV1-3ch)

### 2 選局する

「エリア」「メモリー」表示の場合  
記憶された放送局を選びます

(表示なし)の場合  
周波数が以下のステップで変わります。

AM 9kHz  
FM 0.1MHz  
TV 1ch

### 電源を入れる

### 3 音量を調整する

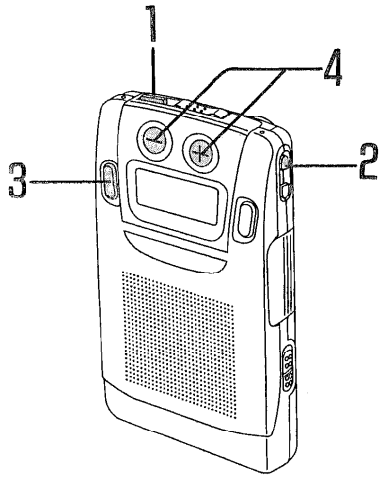
【ご参考】手順2で(表示なし)の場合、0.6秒以上押しと自動的に選局を開始し、受信すると停止します。

## こんな時は手動で記憶してください

- 電波が弱いなどの理由でオートメモリーできないとき
- 電波が強すぎて周波数がずれるとき

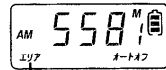
## 手動でエリア(地域)を選ぶには(マニュアルエリア)

自分の地域のエリア番号を、エリアバンク一覧表に従い選んでください。



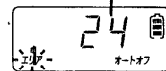
1 電源を入れる

2 「エリア」表示を選ぶ



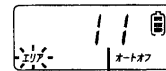
エリア表示  
エリア番号

3 ボンと押す  
約3秒間エリアが点滅します



エリア点滅

4 エリア点滅中に  
⊕⊖ボタンで自分の地域の  
エリア番号を選ぶ



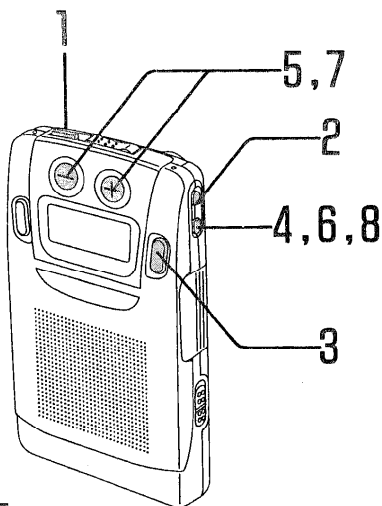
自分の地域の  
エリア番号

### エリアバンク一覧表

1. 札幌	12. 甲府	23. 和歌山	34. 北九州
2. 青森	13. 松本	24. 大阪圏	35. 佐賀
3. 秋田	14. 静岡	25. 鳥取	36. 長崎
4. 盛岡	15. 名古屋圏	26. 松江	37. 大分
5. 山形	16. 津	27. 広島	38. 熊本
6. 仙台	17. 新潟	28. 山口	39. 宮崎
7. 福島	18. 富山	29. 岡山/高松	40. 鹿児島
8. 宇都宮	19. 金沢	30. 徳島	41. 那覇
9. 水戸	20. 福井	31. 松山	42. JFR
10. 前橋	21. 大津	32. 高知	
11. 東京圏	22. 奈良	33. 福岡	

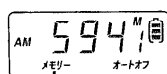
## 手動で放送局を記憶させるには(マニュアルメモリー)

例：FM88.1MHzをプリセットチャンネル3にメモリーする。



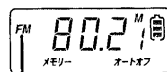
1 電源を入れる

2 「メモリー」表示を選ぶ



メモリー表示

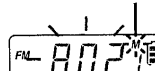
3 バンドを選ぶ



バンド

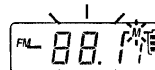
4 「M」表示が点滅するまで押す

M. 表示点滅



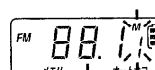
周波数表示点滅

5 周波数表示が点滅している間に押し選局する



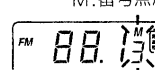
周波数表示点滅

6 周波数表示が点滅している間に押す



周波数点灯

7 「M」表示とメモリー番号が点滅している間に押しメモリー番号を選ぶ



M. 番号点滅

8 押す



メモリー番号点滅

●他の放送局をメモリーするには手順3～8をくり返します。

●5～7の手順で10秒間キー操作がないと点滅をやめ、操作する前の状態にもどります。

エリアバンクに放送局を追加するには

AM、FM、TV (RF-HS90のみ) 各1局ずつ追加できます。

1 電源ボタンを押し電源を入れる

2 バンドボタンを押しバンドを選ぶ

3 選局モードボタンを押し「エリア」表示を選ぶ

4 メモリーボタンを1秒以上押す

5 「M」表示が点滅中に⊕⊖ボタンを押し選局する

6 メモリーボタンを押し記憶させる

●各バンドの最後にメモリーAとして追加されます。

エリアバンクの放送局や記憶した放送局を消すには

使わない放送局だけを消しておく、選局時に飛び越されるので便利です。

1 電源ボタンを押し電源を入れる

2 選局モードボタンを押し「エリア」表示か「メモリー」表示を選ぶ

3 バンドボタンを押しバンドを選ぶ

4 ⊕⊖ボタンを押し消したい放送局を選ぶ

5 メモリーボタンを1秒以上押す

6 「M」表示が点滅している間に⊕⊖ボタンを同時に押す(「---」表示)

7 「M」表示が点滅している間にメモリーボタンを押し放送局を消す

■消した放送局をもう一度使うには

「エリア」表示のとき……オートエリアバンク操作を行う。

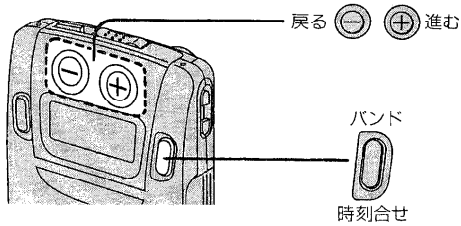
「メモリー」表示のとき……もう一度メモリーする。

### 注意

本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時に、FM放送が混信することがあります。

# 時計を合わせる

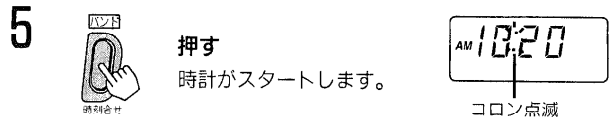
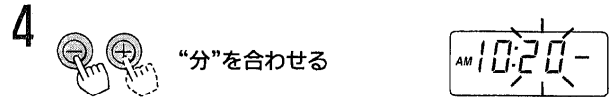
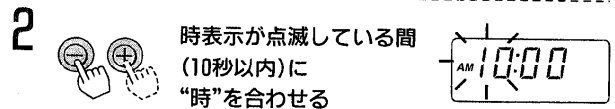
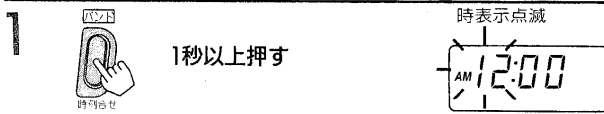
**準備** 電源を切る



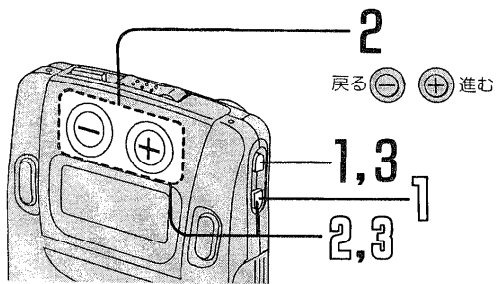
**ご参考**

- 本機は12時間表示です。
- “AM(午前)12:00”は深夜、“PM(午後)12:00”は正午です。
- 時計精度は室温において月差約1分です。

例：午前10時20分に合わせる



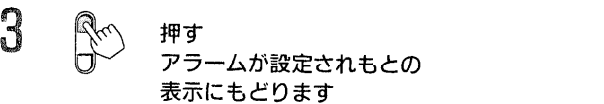
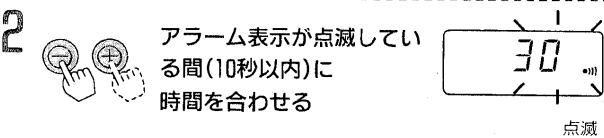
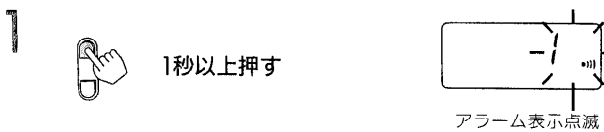
# アラームを鳴らす



## 乗り越し防止アラームを設定

何分後にアラームを鳴らすかを1~180分(1分間隔)の間で設定できます。

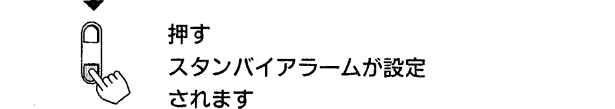
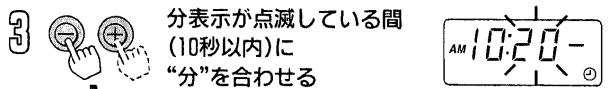
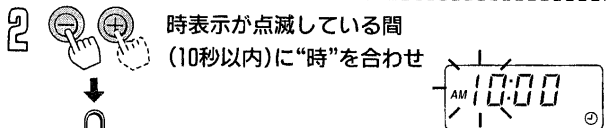
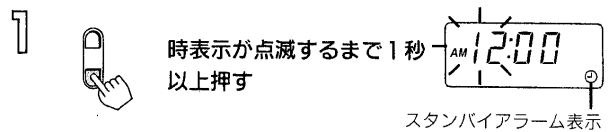
- 準備**
1. 電源を切る
  2. アラーム表示 (●) の消灯を確認する



## スタンバイアラームを設定

アラームを鳴らしたい時刻を設定できます。

- 準備**
1. 電源を切る
  2. 現在時刻を確認する
  3. “⊙”表示の消灯を確認する



(設定した時間がたつと、アラームが3分間鳴ります。)

- ▼ **アラーム音を止めるには**  
 どのボタンを押しても止まります。  
 (ホールド状態のときも、操作できます。)

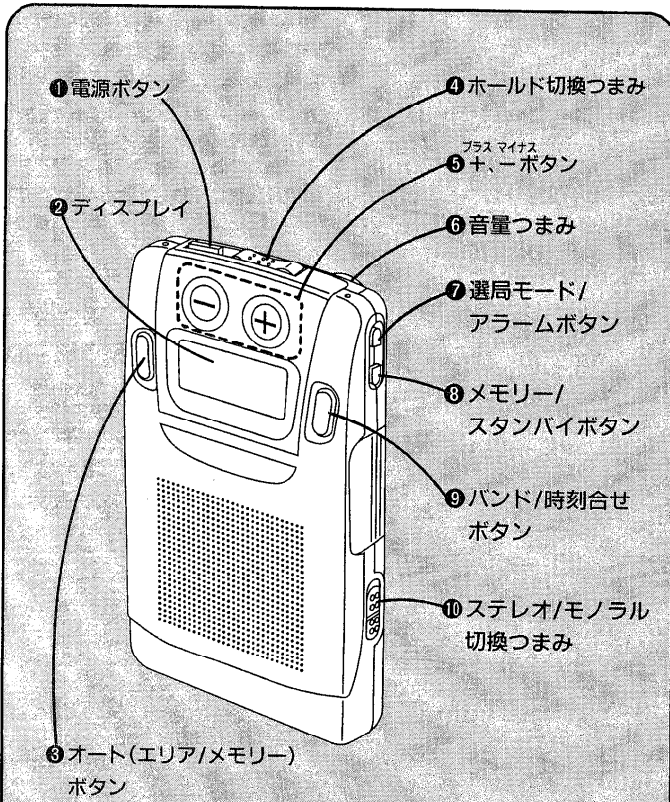
## ▼ アラーム状態を解除するには(電源切の状態)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 乗り越し防止アラームの時は | } を押し、表示を消灯させます。 |
| ●● ……アラームボタン  |                  |
| スタンバイアラームの時は  | } を押し、表示を点灯させます。 |
| ⊙ ……スタンバイボタン  |                  |

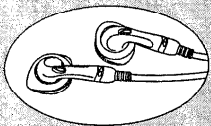
## ▼ 毎日お使いになるときは

- 一度設定した時間は、変えるまで記憶しています。  
 次回からは、
- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 乗り越し防止アラームの時は | } を押し、表示を点灯させます。 |
| ●● ……アラームボタン  |                  |
| スタンバイアラームの時は  | } を押し、表示を点灯させます。 |
| ⊙ ……スタンバイボタン  |                  |

# 各部のなまえ

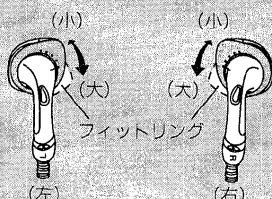


## インサイドホン



### ぴったりホン

耳に合わせてサイズを調整できます。耳に入れてぐらぐらする場合は(大)、耳が痛くなるときは(小)の方にフィットリングを動かしてください。



# ご参考に

## 海外で受信するには

AMの受信周波数のステップが、9kHzと10kHzの国があります。海外で使用するとき、下記の操作を行ってからお使いください。

- ステップを切換えると、メモリー（あらかじめメモリーされているエリアバンクは除く）は消えます。

〈例〉10kHzにするには

- 1 電源を入れる
- 2 5秒以上押す 点滅
- 3 “J”表示が点滅している間（10秒以内）に押す 点滅  
「J-9-10」と切り換わります。
- 4 “10”表示が点滅している間に5秒以上押す 点滅  
●10kHzステップになります。

- “9”“10”ではTVバンドは受信できません。
- 日本で受信するには、もう一度上記の操作をして“J”表示にしてください。

「J」地域
日本国内
「AM9kHz」地域
東南アジア
ヨーロッパ
「AM10kHz」地域
北米、中南米
東南アジアの一部

## ▼ 本体のお手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明をご覧ください。

## ▼ 液晶表示について

本機のディスプレイは、液晶を使用していますので極端な高、低温の場所で使用しますと表示が異常になったり、表示速度が遅くなったりすることがあります。（常温に戻せばもとに戻ります。）

## ▼ インサイドホンについて

- 耳をあまり刺激しないよう、また、周囲の人へ迷惑にならない程度の適度な音量でお楽しみください。

- 交通安全のため、自転車やバイク、自動車などの運転中は絶対に使用しないでください。

また、歩行中でも音量を上げ過ぎると外の音が聞こえにくくなり危険ですので、踏切や横断歩道などでは周囲の交通に十分注意してください。

- 本体に巻付けるときは、コードにたるみを持たせてゆるく巻いてください。

- 使用しないときは、コードのからみを防ぐため、からみ防止スライダを移動させてください。



# 安全にご使用いただくために

■加工・改造はしない  
故障の原因になります。

■落としたり、強い衝撃をあたえない  
破損することがあります。

■避けてほしい使用場所は  
次のような所で使用すると故障の原因になります。

- 風呂場など湿気の多い所
- 倉庫などほこりの多い所
- 暖房器の近くなど温度が高い所

■夏の閉めきった車内に放置しない  
100℃に達することもありますので、キャビネットが変形、変色することがあります。

■キャッシュカードなど磁気を帯びているものに近づけない  
スピーカーの磁気の影響で、定期券や時計などが正しく働かないことがあります。

# 故障かな!?

こんなときは	ここをご確認ください
操作できない	●ホールド状態になっていませんか?
スピーカーから音が出ない	●Ω / □ 切換つまみが“Ω”になっていませんか? ●音量が最小になっていませんか?
ディスプレイに“U01”表示が出る	●乾電池が古くなっていませんか?
ディスプレイに“E”表示が出る	●手でエリアを選びます。 ●インサイドホンを接続していますか?
ディスプレイに“——”表示が出る	●電波をさえぎらない場所で再度行なってください。

- 本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、互いに干渉あって雑音が入ることがあります。
- 本機を0℃前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したためで、約60分で正常に戻ります。

# アフターサービス

保証書 (別に添付してあります。)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間—お買い上げ日から1年間

## 修理を依頼される時

「故障かな!?’に従って調べていただき、直らないときにはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

## ■保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れいりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」(別紙)にご連絡ください。

## ■保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様相談センター」(別紙)にご連絡ください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品 (機能維持のために必要な部品) の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

## アフターサービスなどについて、

### おわかりにならないとき

お買い上げの販売店またはお近くの「お客様相談センター」(別紙)にお問い合わせください。

# 定格

受信周波数:

バンド 機種名	FM	TV	AM
RF-HS90	(AMステップ: J) 76.0~90.0MHz (AMステップ: 9.10kHz) 87.5~108MHz	1~12ch	(AMステップ: J, 9kHz) 522~1629kHz (AMステップ: 10kHz) 520~1710kHz
RF-HS70	(AMステップ: J) 76.0~90.0MHz (TV1~3ch) (AMステップ: 9.10kHz) 87.5~108MHz	—	(AMステップ: J, 9kHz) 522~1629kHz (AMステップ: 10kHz) 520~1710kHz

スピーカー: 3.6cm 丸形 8Ω

出力端子: ヘッドホン (16Ω)

実用最大出力: 80mW (EIAJ)

電源: DC3V (単4形乾電池“R03/LF03”2本使用)

最大外形寸法: 59.7(W)×103.5(H)×18.8(D)mm (EIAJ)

重量: 約107g (乾電池含む)

## 電池持続時間 (EIAJ)

品番	インサイドホン使用	スピーカー使用
RF-HS90	TV (4~12ch): 約13時間	約9時間
	FM (TV1~3ch): 約14時間	約10時間
	AM: 約19時間	約12時間
RF-HS70	FM/TV (1~3ch): 約14時間	約10時間
	AM: 約19時間	約12時間

●ナショナルネオ《黒》R03使用時

★電池持続時間は使用条件により、短くなることがあります。

★この定格は性能向上のため変更することがあります。

# Operating Instructions

Thank you very much for purchasing this unit.

For optimum performance, please read these instructions carefully. Also, please see the illustrations put in the Japanese instructions.

## 1 Power Button

The power supply of this unit will automatically switch off after 90 minutes to save power.  
(AUTO POWER OFF function)

## 2 Display

## 3 Auto Button

Used to automatically select the area number for the current location.

## 4 HOLD Selection Control

The buttons on the unit can be switched to the hold state so that they cannot be operated even if pressed.

## 5 "+" and "-" buttons

Used to increase ("+") or decrease ("-") the reception frequency and time settings.

## 6 Volume Control

## 7 Station Mode/Alarm Button

## 8 Memory/Standby Button

## 9 Band/Time Set Button

## 10 Stereo/Monaural Selection Control

## 11 Headphones Jack

## 12 Earphone/Speaker Selection Control

## Selecting an area and listening to a memorized broadcast station (Auto area bank function)

### Preparation:

- Release the hold state.
- Connect the earphones.

1. Turn on the power.
2. Press STATION MODE to select the area.
3. Press AUTO for 1 second or more.
4. Press BAND to select the band.
5. Press "+" or "-" to select the desired station.
6. Adjust the volume with the volume control.

## Memorizing a broadcast station (Auto memory function)

1. Turn on the power.
2. Press STATION MODE to select memory mode.
3. Press AUTO for 1 second or more.
4. Press BAND to select the band.
5. Press "+" or "-" to select the desired station.
6. Adjust the volume with the volume control.

## Selecting the area manually (Manual area function)

1. Turn on the power.
2. Press SELECTION MODE to select area mode.
3. Press AUTO.
4. While the area is flashing, press "+" or "-" to select the desired area number.

## Memorizing a broadcast station manually (Manual memory function)

### Preparation:

- Release the hold state.
- Connect the earphones.

### Example:

To memorize an FM station broadcasting at 88.1 MHz into channel 3

1. Turn on the power.
2. Press STATION MODE to select memory mode.
3. Press BAND to select the band.
4. Press MEMORY for 1 second or more.
5. While the frequency display is flashing, press "+" or "-" to select the broadcast station frequency.  
If the buttons are pressed for 0.6 seconds or more, the automatic station search function will operate and will stop when a station is found.  
(Auto tuning function)
6. While the frequency display is flashing, press MEMORY.
7. While "M" and the memory number are flashing, press "+" or "-" to select the desired memory channel number.
8. Press MEMORY.

## Setting the time

### Preparation:

- Release the hold state.
- Turn off the power.

### Example:

To set the time to 10:20 a.m.

1. Press BAND for 1 second or more.
2. While the hour display is flashing (10 seconds), press "+" or "-" to select the hour.
3. Press BAND.
4. While the minutes display is flashing, press "+" or "-" to select the minutes.
5. Press BAND. The time will start counting.

## Using the alarm

### Using the destination alarm

The amount of time to elapse before the alarm sounds can be set to between 1 and 180 minutes (in 1-minute steps).

### Preparation:

- Release the hold state.
- Turn off the power.
- Check that the speaker display (●) is switched off.

1. Press ALARM for 1 second or more.
2. Press "+" or "-" to set the time.
3. Press ALARM.  
When the amount of time set has elapsed, the alarm will sound for three minutes.

### Using the standby alarm

The alarm can be set to sound when the desired time arrives.

### Preparation:

- Release the hold state.
- Check that the time has been set.
- Turn off the power.
- Check that the "⊕" display is switched off.

1. Press STANDBY for 1 second or more until the hour display flashes.
2. While the hour display is flashing (10 seconds), press "+" or "-" to set the hour, and then press STANDBY.
3. Press "+" or "-" to set the minutes, and then press STANDBY.

### Stopping the alarm

Pressing any button will stop the alarm.

(This is true even if the unit is in the hold state.)

## Canceling the alarm setting (Power off state)

For the destination alarm:  
Press ALARM.

For the standby alarm:  
Press STANDBY.

The display will then switch off.

## If using every day

The time which has been set will continue to be memorized until you change it.

## Using the alarm again

For the destination alarm:  
Press ALARM.

For the standby alarm:  
Press STANDBY.

The display will illuminate.

## When using overseas (except for TV)

This unit can be used overseas. Before operation, proceed with the following steps and adjust the AM step frequency.

1. Press POWER.
2. Press BAND for 5 seconds or more.
3. While the AM step display is flashing, press "+" or "-" to set your desired area.

J- 9- 10-

J: Japan

9: South East Asia, Europe

10: North America, South America

4. Press BAND for 5 seconds or more.